

当面の市況見通し (2004年10月～12月)

市況予想レンジ(四半期予想)

項目	時期	直近3ヵ月実績		
	10～12月	7月	8月	9月
長期国債10年物(%)	1.30 ～1.80	1.735 ～1.875	1.520 ～1.880	1.380 ～1.645
円ドル相場(円)	100 ～120	107.56 ～112.23	108.95 ～112.10	108.96 ～111.73
日経平均株価(円)	10,500 ～12,200	11,018.79 ～11,988.12	10,545.89 ～11,279.71	10,737.78 ～11,357.85

四半期毎の市況見通しに月次の実績を記載しております。

当面の見通しと注目点

ファンダメンタルズ

(日本)

9月調査の日銀短観は、企業の業況判断は足元「改善」、先行き「悪化」という企業の先行きに対する不透明感を反映した結果となりました。しかしながら、設備投資計画は製造業・非製造業とも上方修正されており投資意欲は旺盛で、キャッシュ・フローも潤沢であり緩やかな増加基調が続く見通しです。一方、IT関連を中心とした在庫調整は、在庫率が低いレベルにあり、企業も早めの対応を行っており、短期に終了する可能性が高いと判断されます。また個人消費は、雇用・所得環境は改善しつつあるものの、税・社会保険料負担の増大から横ばいを予想され、全体的には、外需伸び悩み、原油高、在庫調整局面であるものの景気が失速するには至らないと見られます。

(米国)

原油価格急騰によって米国景気は夏場以降減速し、その後持ち直しつつあるものの、雇用・所得環境の改善の遅れ、天候不順の影響等から個人消費の回復ペースは緩やかで、企業の景況感にも翳りが見え始めており在庫・設備投資も伸びは鈍く、全体的な減速は避けられないと見られます。一方、物価は工業用原材料の上昇や原油価格急騰からのインフレ期待は終息し落ち着きを見せており、最終価格が上振れすることはないと思われま。

株 式

(国内)

国内株価は景気の先行き懸念から一時的な下振れリスクはあるものの、良好な企業業績と割安なバリュエーションを背景に緩やかながらも上昇基調が続くと予想します。足許の企業業績好調は既に市場に織り込まれており、注目は来期の景気動向、企業業績動向ですが、特に寄与度大きいハイテクセクターがポイントとなります。また、需給動向では引き続き外人投資家の動向が注目されます。例年この時期は、決算期末でもあり、大幅な買い越しは期待出来ず、景況感、米国株式市場の動向次第では売りに転じる懸念があり、需給面にはやや不安な要素があります。

(外国)

米国株式市場は、今後の業績鈍化に対する神経質な反応が強まりつつあり、原油価格高騰の悪影響も懸念されています。しかしながら、景気回復の継続、バリュエーション面からの下支え効果等からボックス圏での展開を予想しています。ユーロ圏については、外需の影響が大きいドイツは企業業績について慎重な見方としますが、全体的にはボックス圏での展開となるものと見られます。

債 券 ・ 為 替

(債券)

国内経済は緩やかな景気回復が続くものの、海外需要の減速や生産調整等から、成長率は鈍化します。また、企業のキャッシュ・フローは依然潤沢で旺盛な資金需要は見られず、日銀の量的緩和政策にも変更はないことから、長期金利はボックス圏で推移すると見られます。米国長期金利の低下、株価下落から長期金利は、一時的に1.4%割れの水準となりましたが、今後は底固い景気動向、原油・素材価格上昇を背景とした金利上昇懸念と投資家の押し目買いとの綱引きによるレンジ相場を予想します。

米国の自律的景気回復は持続する見通しで、雇用指標の改善も継続していることから政策金利は年内利上げが実施されると予想します。それを前提とした場合、現状の10年金利4%はやや行き過ぎと見られ、目先調整の動きがあるものの、基本的にはボックス圏での動きを予想します。

ユーロ圏の債券市況は、景気回復は緩やかなペースに留まり、インフレ率は原油価格の高止まりから高水準での推移を見込むものの、政策金利は当面維持される見通しで、長期金利は米国同様ボックス圏での推移を予想します。

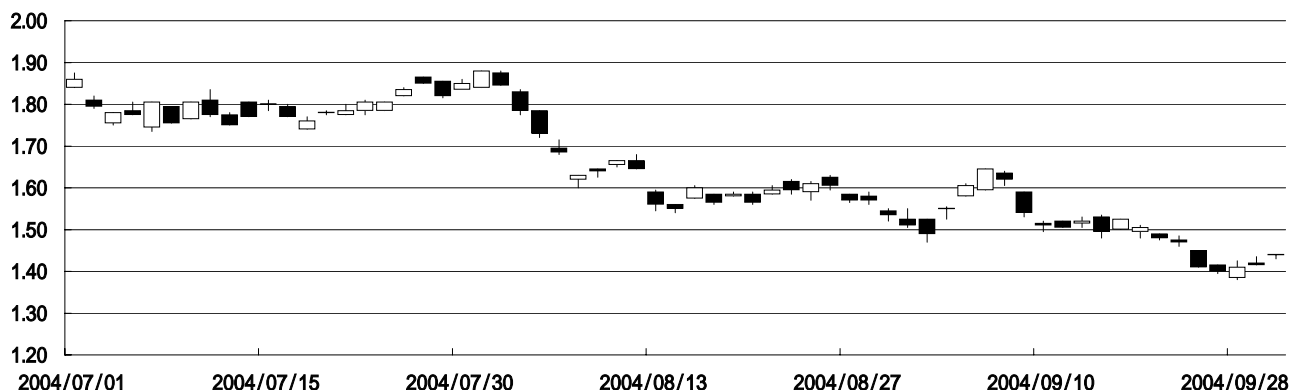
(為替)

日米ともに景気の先行きに翳りが出てきていますが、米国は今後とも追加利上げが予想され、金利面からはドル高圧力がかけられます。しかし経常収支の米国大幅赤字、日本大幅黒字はドル安圧力であり、緩やかな円高・ドル安の推移を予想します。

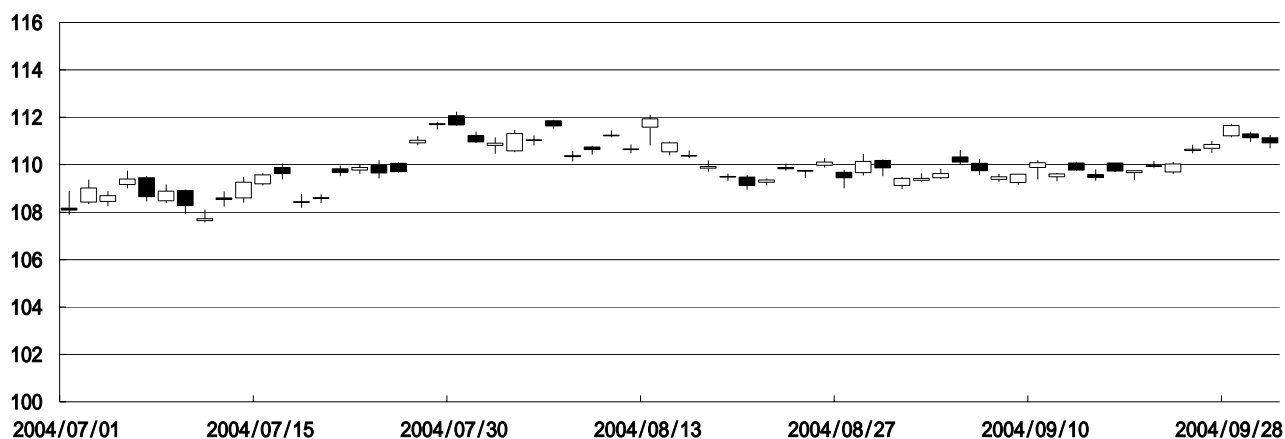
- ・当資料は情報の提供を目的としており、当資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・当資料は当社が信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・当資料に記載された意見などは、資料作成時点の当社の判断であり、今後、予告なしに変更されることがあります。
- ・投資に関する決定は、お客様御自身の判断でなさるようお願いいたします。

市況の推移

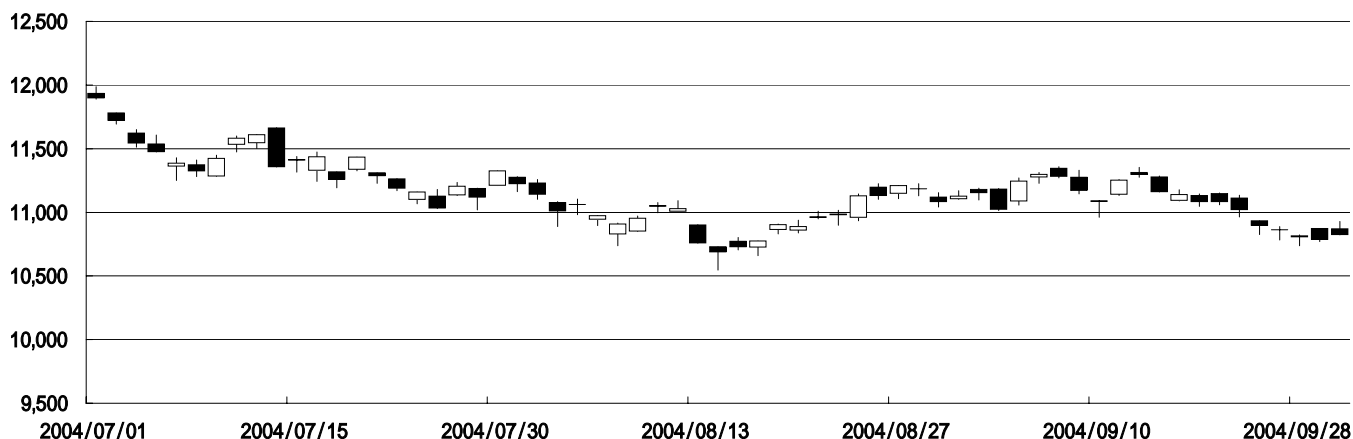
10年国債利回り



US\$/¥為替レート



日経平均225種



- ・当資料は情報の提供を目的としており、当資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・当資料は当社が信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・当資料に記載された意見などは、資料作成時点の当社の判断であり、今後、予告なしに変更されることがあります。
- ・投資に関する決定は、お客様御自身の判断でなさるようお願いいたします。